

剣淵町長 早坂純夫

新年のご挨拶



希望に満ちた新春を迎えられた町民の皆様にご挨拶申し上げます。

日頃からの町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、昨年は私にとりまして、町行政執行4年

目を迎え無事終えることができずしたのが、町民の皆様のご指導ご鞭撻のおかげであると感謝申し上げます。さらに、力強いご支援により2期目となる町づくりを担えさせていただけますことは光栄の限りであります。

町民の皆様と膝を交えて、町民主役の町づくりを実践してまいり所存であり、議会の皆様の審議を仰ぎ、進めてまいりたいと考えてございますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年の天候推移は、一昨年とは違い、大雨による災害もありませんでした。過去の天候からは少しずつ変わってきている実感が顕著に表れてきました。ここ2年ほどは初夏までの天候が不順であり、不安視する内容でした。

一言でいえば、「天候不順」と言う言葉があたりまえになってきたと感じるわけです。水稲は、上川管内は指数102であり、前年に比べると青米が多い状況となりました。また、秋まき小麦は、前年の早期降雪が原因で雪腐れ病の防除ができず、20%程度の作付け変更を余儀なくされたことでもあります。

そのような状況において、ほかの作物も含め、平年並みの収穫を確保できたことは、天候不順に対し長年の土づくりが大きく効果を発揮していると考えられるわけであり、農家の皆様のご努力に敬服する次第であります。

昨年一年は、世界の中の日本ということが多い見受けられました。TPPに関してアメリカの単独離脱、日欧EPA協定と経済情勢はめまぐるしく変化することになりました。いずれも影響を受けるのは基幹産業である農業でありますから、関係団体としっかりと対応していかなければと考えています。

昨年の事業を振り返りますと、一つには、西岡町の旧六区地区水道が町の上水道と連結できたことでもあります。雨が降ると濁りが入り、寝ないで管理をする状況だったことが解消されたことは喜ばしいことと感じています。

地方創生総合戦略に基づいた事業も着実に芽吹き出しました。レークサイド桜岡の一部改修もその一つであります。シングルルームの充実により、利用形態の変化にも対応することができました。よ

り、皆様のご利用をご期待申し上げます。

町民の生活を支えるのは、産業振興はもとより、安全であり安心であります。住み続けられる環境を整えなければなりません。各種課題を検証し、解決に向けて町としてできる事を一つ一つ進めなければなりません。

生き方や生活空間の変化に対応するため、町民の皆様の広いご意見を頂戴し、活力ある絵本の里けんぶちの町づくりを進めたいと考えています。今年一年、町民の皆様が健康にて、五穀豊穡の秋を迎えますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

